

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回本庄市社会教育委員会議
開催日時	令和元年11月21日(木) 午前・午後10時00分から 午前・午後11時17分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	井上健治委員、芦澤吉一委員、久保田浩史委員、高柳純委員、 岩崎信裕委員、木村登志男委員、都丸幸子委員、内田英亮委員、 矢野間規委員、野本壽永委員
欠席者	村田文彦委員、明堂純子委員、大塚進委員、田邊晶子委員、 熊谷將之委員、塩谷和弘委員、茂木宏子委員
事務局職員	勝山勉教育長、加藤久美子課長、下垣淳課長補、阪上佳子主事
議題 (次第)	別紙の通り
配付資料	別紙の通り
その他特記事項	
主管課	生涯学習課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
加藤課長	<p>・開会</p> <p>皆様こんにちは。大変お忙しい中、社会教育委員会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、令和元年度第1回本庄市社会教育委員会議を始めさせていただきます。</p> <p>また、本日の会議は委員の半数を超える出席がありますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>私は、本日の司会を務めます生涯学習課長の加藤と申します。隣が課長補佐の下垣補佐、その隣が生涯学習課2年目の阪上でございます。</p> <p>お手元の次第に沿って進めさせていただきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、会議の終了は、概ね午前11時半と予定しております。</p> <p>それでは、次第2、委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>委員の改選により新たに3名の方が委員とされますが、1名の方が欠席となっておりますので、2名の方に委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びさせていただきますので、その場でお立ちいただきまして、教育長より委嘱状の交付をお受けいただきますようお願い申し上げます。</p>
勝山教育長	<p>・委嘱状交付</p> <p>(各委員の前に出向き、委嘱状の交付)</p>
加藤課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、しおやかずひろ様には、事務局より委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>つづきまして、勝山教育長からごあいさつを申し上げます。</p>
勝山教育長	<p>・教育長挨拶</p> <p>皆様、おはようございます。</p> <p>朝は寒くなって、秋が深まり冬の気配を感じる季節となりました。</p> <p>本日は、令和元年度の本庄市社会教育委員会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃より委員の皆様には、それぞれのお立場で青少年の健全育成を初め、様々な活動を通してご尽力をいただき感謝申し上げます。</p>

	<p>さて、今年の9月、10月は大変雨の多かった年で、色々な行事も影響を受けました。台風19号では、本市でも大きな被害がありまして、小中学校の体育館やセルディ等を避難所として開設し、一番多い時には、1,580人の方が10カ所の避難所に避難されました。私の記憶の範囲では、これだけの方が非難するということはなかったと思っています。</p> <p>教育委員会所管の施設では雨漏りや水の浸入などの被害がありました。一番大きかったのは山王堂グラウンドで、ソフトボール等で使われているところです。河川敷にありますので、完全に冠水して、土砂がたまったことで現在使えない状況です。先日のソフトボールの県北選手権につきましても使用できなく、別の会場に移しての開催となりました。大変ご迷惑をおかけしております。対応については、担当課の方で検討しております。</p> <p>また、市内には、床上浸水10軒、床下浸水20軒で床上浸水のうち3軒は大きな被害が出て、その内2軒は既に取り壊したと聞いています。</p> <p>今回の件では、自然の驚異を改めて思い知らされたところでございまして、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。</p> <p>本日の会議ですが、議題は、社会教育事業の現況と令和4年度からの成人の祝い式典についてでございます。お集まりの委員の皆様には、ご助言、ご指導を賜る機会となりますことから忌憚のないご意見をいただき今後活かしてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
加藤課長	<p>ありがとうございました。つづきまして、井上委員長からごあいさつをお願いいたします。</p>
井上委員長	<p>皆様、こんにちは。本日、委員会を開催するにあたり皆様方の参加をいただきましてお礼申し上げます。</p> <p>また、新しく委員になられました久保田委員、高柳委員、塩谷委員につきましては、一日も早く委員会の雰囲気慣れて、ご活躍なされることを願います。</p> <p>これから、議事等もございまして皆様の忌憚のないご意見をいただき、この委員会がスムーズに進み終了できますことをお願い申し上げます。私からの挨拶といたします。よろしくお願いいたします。</p>

加藤課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、教育長は、この後、他に公務がございますので、退席とさせていただきます。</p>
	<p>～勝山教育長 退席～</p>
加藤課長	<p>次第5の議事に移らせていただく前に、ここでお手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>それでは、会議を始めさせていただきます。次第5の議事に移ります。議事進行につきましては、本庄市社会教育委員の会議規則第2条第2項の規定によりまして委員長が会議の議長となって進めることになっておりますので、これからの議事の進行は井上委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
議長	<p>・議事</p> <p>それでは、本日の議事に入ります。</p> <p>「議事5－1 本庄市社会教育事業の現況について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
下垣補佐	<p>本庄市社会教育事業の現況について事務局から説明致します。資料2をご覧ください。</p> <p>1. 生涯学習推進事業に関すること</p> <p>(1) 本庄市生涯学習推進指針について</p> <p>昨年度、皆様のご助言をいただきまして、策定することができました。</p> <p>この指針は、生涯学習の輪が広がり、より良い生涯学習社会の実現を目指すために、5つの指針を体系として、市民一人ひとりが自主的、自発的に学び続けることができる環境を整え、市民の主体的な学習活動を支援します。</p> <p>(2) 市民総合大学</p> <p>受講の申し込み者数は、シニアコース、ミドルコース、ジュニアコースともに増加しております。ここ数年、増加傾向にあり、生涯学習への関心が高いことが伺えます。</p> <p>(3) 公民館講座の開催</p> <p>市内11箇所の公民館を生涯学習の拠点として、各種講座等やクラブ活動を実施しています。</p>

<p>(4) 中学校開放講座の開催</p> <p>市内の中学校4校で開催しております。中学校を生涯学習の会場として開放し、通学区地域の方たちを対象にした生涯学習講座を開設し、生涯学習の機会を増やすとともに、学校と地域社会の連携を推進しております。平成30年度は各校で5～7回の講座を開催しました。</p> <p>(5) 生涯学習推進大会</p> <p>今年度については令和2年3月14日の土曜日に本庄市民文化会館での開催を予定しています。</p> <p>昨年度は平成31年3月16日の土曜日に市民文化会館で開催致しました。芸術鑑賞会として「早稲田大学グリークラブ愛唱歌ステージ」として本庄市市民総合大学閉講式と同時開催で、入場者数は273人となりました。</p> <p>2. 青少年教育に関すること</p> <p>(1) 本庄市青少年育成市民会議</p> <p>今年度は以下の表の通り、青少年非行防止街頭キャンペーン、青少年健全育成標語・青少年の主張の募集、青少年育成管外研修を実施しました。</p> <p>青少年健全育成のつどいを今週の23日土曜日に行います。青少年育成推進員の中学校訪問を12月に、親子名作映画劇場を来年の2月に行う予定です。</p> <p>(2) 青少年「街の応援団」事業（夜間パトロール）</p> <p>以下の実施計画の通り、関係団体や機関と一緒に第2回まで実施いたしました。3回目を来年の2月に予定しております。平成30年度の実績ですが、延べ164人となりました。</p> <p>(3) 本庄市子ども会育成会連合会</p> <p>7月13日の土曜日に子どもみこしパレードを開催いたしました。夏期リーダー研修会ですが8月9日から10日に開催して、参加人数は36名となっております。9月には運動会と次のページのパレットテニス教室を実施いたしました。</p> <p>今後の予定として、冬の恒例となっている冬期リーダー研修会を2月8日から9日に予定しています。また、市民ホールでははがき作品展も実施を予定しております。はがき作品展の昨年度の実績は1,796点の応募がありました。</p>
--

	<p>(4) 子ども大学ほんじょう</p> <p>本庄市・美里町・神川町・上里町及び関係機関・団体が「子ども大学ほんじょう実行委員会」を組織し、包括協定を締結している早稲田大学との連携を強化し、早稲田大学をはじめとした各協賛企業等の協力を得て開催しております。</p> <p>また、子ども大学ほんじょうは、児玉郡市の小学校5・6年生を対象に、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の3分野について学びます。講師は大学教授等のスペシャリストであり、学校や家庭では体験できない活動や講義を実施することで、子ども達の知的好奇心を刺激します。</p> <p>今年度は、参加者57名で実施期間は6月から9月までとなっており、全7回の講義を行いました。</p> <p>3. 家庭教育に関すること</p> <p>(1) 親の学習講座の実施</p> <p>「親の学習」とは、子育てをする親の力を高めるための学習です。</p> <p>現在、地域の繋がりが弱くなり、回りに頼れる人がいないため誰にも相談できず、子育てに悩みを感じている保護者の方が多いと考えます。このような保護者の方々を支援するために、本庄市親の学習推進委員がファシリテーターとなって「親の学習」を実施しています。</p> <p>①親の学習講座の開催</p> <p>小学校PTA家庭教育学級、小学校新入学児童説明会時、中学校開放講座、認定こども園・保育園及び幼稚園で保護者を対象に親の学習講座を開催しています。以下の表は平成30年度の親の学習講座の実績となります。</p> <p>②本庄市「親の学習手引書」「親子手帳」の活用</p> <p>・親の学習手引書</p> <p>本庄市独自に作成したもので、見やすくわかりやすい内容となるように子育てのワンポイントアドバイスやQ&Aを掲載しています。出生届を提出した時に窓口でお渡ししており、ホームページからもご覧いただけます。また、親の学習講座でも活用しています。</p>
--	---

	<p>・親子手帳 出生届を提出した時に、親の学習手引書と一緒に窓口でお渡ししております。子どもへの愛情を記録として形にすることができる手帳です。</p> <p>(2) 小学校PTA家庭教育学級の開催 市立の小学校を会場に、子どもの健やかな成長と学校・家庭・地域の連携を推進するため、PTA会員が継続的に学習できる講座を開催しております。なお、「人権学習」と「親の学習」を講座中に各1回開催することを依頼しています。平成30年度は各校5～7回の講座を開催しました。</p> <p>4. 成人の祝い（成人式）に関する事 本庄市の成人式は実行委員会形式で行っておりまして、今年度は11名の応募がありました。開催日の令和2年1月12日に向けて、役割分担、記念品、式中のアトラクションなど、参加する方のために実行委員の皆で相談を重ねております。会場は例年通り本庄市民文化会館で、対象者は今年11月1日の時点で814名となっております。内訳として男性410名、女性404名となっております。 昨年度の出席率は76.26%で、過去5年はこのぐらい数字を前後した出席率となっております。</p> <p>5. 総検校塙保己一先生遺徳顕彰事業について 本庄市のシンボルである塙保己一の偉大な事績を顕彰するため、市民参加による「総検校塙保己一先生遺徳顕彰会」が平成19年7月に設立され、顕彰祭、埼玉県塙保己一賞への協力、会報誌の発行などの顕彰事業を実施しています。市では、顕彰会へ補助金を交付して、活動の支援を行っています。</p> <p>6. 社会教育団体への補助金等交付について 以下の表は今年度の各団体に対して補助金等の予算額となっております。 事務局からの説明は以上になります。</p>
議長	事務局より、「議事5-1 本庄市社会教育事業の現況について」説明がございましたが、ご意見等ございませんか。
内田委員	一つ目として、1の(2)でご説明がありました市民総合大学について、申込者数が増加傾向だということでしたが、統計を取っているかわかりませんが、今年受けた人が来年も受けて次の年

	も受けていって、多少友達に広がっていけば増えていくのは当然のことですが、その増加が本当に新しい人が入ってきているのかわかれば教えてください。
下垣補佐	そのような統計はとっておらず、申込者数全体でのとらえかたとなりますので、全く新規の方の増加数は把握しておりません。
内田委員	もう、今年は間に合わないと思いますが、その点の把握をやっていた方が、今年度新規の方がこれだけいることで、広報等の仕方が良かったとか、実は以前受けていた人が繰り返し参加して新規者が少ないということであればもう少し違った広報等の仕方をしないと、本当に知らないという人もいると思うので、その点をお願いします。
矢野間委員	親の学習講座について、親の学習推進員の方が小学校PTA家庭教育学級にいらっているようですが、講座に参加される方はもともと意識や学習の意欲が高い方が参加している現状で、本当にターゲットにしたい人に伝わっているのかなと毎回思います。この点は難しいことだとは思いますが、将来的にはどのようにしていくかビジョンなどありますか。
都丸委員	おっしゃられていることはそのとおりだと思います。私たちとしては、少ない人数でもこの良さをそこで認めていただいて、そこから徐々に広めてほしいという思いがあります。家庭教育学級の良いところは、各学校の問題を掘り下げて、PTAと一緒に課題をつくって、皆で話し合っています。 PTA家庭教育学級でも親の学習講座をやっただけないところもあり、やっただければわかっていただけると思っています。やはり、そこから広めていくことで、受けた方が良かったと回りに話すことで輪が広がっていくことを続けるしかないと考えます。ぜひ、家庭教育学級では親の学習講座を1回で結構ですので開いていただければと思います。
下垣補佐	本当に来てもらいたい人が1回でも聞けるように推進委員さんと一緒にできるだけ回数や場所等を考えて進めております。
矢野間委員	学校でやっている家庭教育学級が良いのは自分もわかるのですが、担当するPTAの役員の意識に差があるように感じます。役員によっては、昨年と内容は同じでいいやと考える人もいます。そうであれば、PTAの役員と市の職員が連携して、他の学校の事例等を紹介していただくと良いのかなと思います。
議長	副委員長から実際に行っている北泉小学校の事例を説明していただきます。

芦澤副委員長	<p>私は学校運営協議会の委員となっておりまして、その協議会の中でインターネットの関係で、協議会として考えてみてはということで岡病院の岡先生も委員になっていたのも、ネット依存について医学的にお話をさせていただくことになりました。岡先生から子どもと保護者の方にお話をさせていただきました。それを引き受けて、会長の方でパネルディスカッションをすることになりました。パネルディスカッションの小学生の代表として6年生に、保護者の代表にPTAに、地域の代表として私がでました。そのような取り組みをしながら、一方通行の話だけではなく地域の人を巻き込んでおります。</p> <p>家庭教育学級や地域の保護者の係わりの中で、地域で課題を共有していく場を作っていくってあげないといけないのかなと思います。それから家庭教育学級において、グループを作って、あの課題についてはどうしようかと家庭教育学級の中で色々やっていくことで、輪がどんどん広がっていき、最終的には協議会の方でまとめていき、次の案が出てくる形です。</p> <p>いつも思うのですが、ネットのことをやりますと通知を出しても、保護者の方は集まらないです。県の方から依頼されて学校に行った帰りに校長先生へのお願いは、学校行事にぶつけてくださいと、就学旅行や林間学校の説明会で、最初に私たちに時間をいただければ、その学年の子どもたちは全員聞いてくれることとなります。ネットの講習をしますと言っても、役員が数十人集まる程度です。とにかくある程度は、全員が聞いた上で、後はネットのことは保護者が判断することです。保護者が判断することで、PTAの中で問題になれば家庭教育学級でネットについて話そうということになり、輪が広がっていきます。ですから一旦は全員で課題を共有する場所を与えていただけるように校長先生に話しています。</p>
都丸委員	<p>親の学習講座自体が色々なかたちをとれます。どのような内容にしていくかをPTAの方と話し合って決めますので色々なかたちで行うことができますので、来年はこのようなこともできるともう少しアピールして学校に提供しようかと思っています。ぜひ、機会を設けてください。</p>
矢野間委員	<p>私もどうやったら聞いてもらえるか考えていて、副委員長の修学旅行、林間学校の説明会の初めに時間をとってもらうのは良い案だと思いました。</p> <p>何年か前に東小学校で6年生のスマートフォンの所持率が6割以上を超えたことがありました。ラインやSNSのツールの重要</p>

	<p>性や危険性について、ライン株式会社の方をお呼びして講座を開いた時には多くの保護者の方が参加してくれました。</p>
久保田委員	<p>家庭教育学級ではお世話になっているところですが、北泉小の事例をお聞きして、今保護者が必要としている内容や開催の機会、講座の形式を講義形式から少人数で話し合いの形にして工夫していることを聞いて良かったと思います。後は私たちが口コミで良かったと地道に広げていくことが必要なのだと感じました。</p>
高柳委員	<p>家庭教育学級については、矢野間委員がお話している状況で、例年どおり同じ内容を行っているところが多いようです。</p> <p>先週の16日土曜日に市のPTA役員が集まりまして、意見交換会を行いました。活動内容を報告しあって、お互いの良いところを参考にしようという集まりです。</p> <p>家庭教育という分科会がありまして、そこでも例年どおりになってしまっている状況について話し合いがされました。新しい講座の企画や誰に講師を頼んだらよいか参考になるものがあればと思っています。</p>
加藤課長	<p>家庭教育学級に関しまして、昨年アンケート調査を行いました。理由として、各学校がどのようなことを行っているのか知らないということは講座の充実に繋がっていかないということで行いました。今日の資料に入っていませんが、小学校PTA家庭教育学級収録にアンケート結果とともに、各学校の実績報告書、講座名、講師名、実施場所、参加者数等をまとめて一冊にしております。最初の会議で家庭教育学級を運営していただく方にお配りしております。</p>
議長	<p>余分がありましたら、新しい方にお配りしてください。</p>
木村委員	<p>先程、副委員長からお話がありましたが、ユーチューブは子どもたちにとって悪いものですが、それとも子ども達が新しい知識を吸収するのに良いものですか。</p>
芦澤副委員長	<p>ユーチューブが良いとも悪いとも言えないですね。今、社会問題になっているのは、過激、暴力的な映像が出てきています。我々がネットについて話しているのは、子どもでも見られるユーチューブです。また、見せる時には子どもだけで見せるのではなく、お母さんも一緒に見ることで会話が生まれるのです。人間関係の希薄化が進み、親子でも会話がな、学校の中でもない、放課後に遊んでいる子どもを見なくて皆ゲームをやっていて友達とも話しをしていないなどコミュニケーションが非常に少ない。家庭内で少なくなっているの、どうしても外であればより少なくなります。</p>

木村委員	親子で見る分であれば、ユーチューブも良いということでしょうか。
都丸委員	ユーチューブの利用規定は、13歳未満は利用してはいけないと書いてあります。
議長	他にありませんか。意見ないものと認め、質疑を終結いたします。それでは、つづきまして「議事5-2 本庄市成人の祝い式典に係るアンケートの結果について」事務局より説明をお願いいたします。
下垣補佐	<p>令和4年度からの本庄市成人の祝い式典について説明いたします。資料3の「成年年齢引き下げに係る成人の祝い式典アンケート調査」をご覧ください。</p> <p>まず、このアンケート調査は、平成30年6月13日に民法改正により、令和4年度より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。それに伴い、本市の成人の祝い式典について、対象年齢や開催時期等の要望や課題を把握し、今後の方向性を検討するためにアンケート調査を実施いたしました。</p> <p>1 ページ目の調査対象ですが、市内在住の市内県立高校に通う高校1～2年生や市内公立中学校に通う中学3年生、令和4年度に20歳、19歳、18歳になる生徒の方です。また、保護者代表ということでPTAの役員の方、市内に店舗を構える事業主として、呉服店、着物のレンタルのお店、理容室、写真館等を対象に行いました。対象は970に対して、883件で回収率は91.03%になります。実施期間は令和元年8月31日～9月17日で行いました。調査手法については、生徒は学校から該当生徒へアンケートの配布及び回収、保護者は本庄市PTA連合会にご協力いただきまして会議の場にて配布及び回収、事業主はアンケートを郵送にて配布及び回収を行いました。</p> <p>2 ページに移りまして、成人の祝い式典の意義、成人の祝い式典にはどのような意義があると思いますか。複数回答になっており、右側のa～hの7つの選択肢があります。生徒、事業主は成人式を「人生の節目」、「将来を考える機会」ということでaの青いところ、「大人になった自覚を促すもの」ということでbの赤いところになります。また、PTAは「同窓会」、「地元の友人と再会できる場」として捉えている人が多いことがわかります。</p> <p>3 ページになりまして、成人の祝い式典の希望年齢、成人の祝い式典の対象年齢は何歳がふさわしいと思いますか。選択肢の方が、20歳、19歳、18歳、その他の4つの中から1つを選ぶことになっております。全対象とも8割以上の方が、成人の祝い式典の対象年齢は20歳がふさわしいとの回答でした。また、自由意</p>

	<p>見では「16歳」、「25歳」、「自分が成人したと自覚できる年齢ならいつでも良い」、「年齢と成人は無関係」等の意見がありました。</p> <p>4ページをお願いします。ふさわしいと思う年齢の理由ということで、何故その年齢がふさわしいと思いますか、自由記述となっております。20歳がふさわしいと考える理由として、「区切りが良い・節目として相応しいと感じる」、「今まで通りが良い・伝統的に20歳で行っている・成人式は20歳に行うものと感じる」、「1/2成人式を10歳で行った」、「大人としての自覚を持てる年齢である・20歳未満は自覚を持ってない、早い」、「合同開催への懸念」。19歳がふさわしいと考える理由として、「高校卒業後が良い・高校生のうちに行うのは違和感を感じる」、「18歳は受験等の影響で多忙な時期である」。18歳がふさわしいと考える理由として、「成年年齢が引き下がったため」、「選挙権が18歳からのため」、「酒・タバコができない年齢のため」、「大人としての自覚を持てる、もしくは持つ必要がある・自立する年齢である」。</p> <p>5ページになります。成人の祝い対象年齢を18歳にした時の影響、成人の祝い式典の対象年齢を18歳とした上、1月に実施する事とした場合、どのような効果や影響があると思いますか。</p> <p>6つの選択肢の中から複数回答になっております。「18歳で開催は忙しい、大変、やめて欲しい」といった記述が多く見受けられました。また、20歳・19歳・18歳の3学年分を同時開催にした場合、会場の問題や、兄弟と成人式が重なってしまう等の心配の声も見受けられました。</p> <p>6ページのその他、生徒から自由意見として、「なぜ変える必要があるのか」、「変えてどうするのか」、「20歳の時にやった方が絶対楽しい」、「18歳はキリが悪い」、「20歳の成人式がいい」、「成人は25歳以上が良い」、「全員18歳になってからがいい」。生徒からは、「成人式は20歳を対象にすべき」という内容の自由記述が圧倒的に多く見られました。</p> <p>7ページのPTAの方の自由意見として、「成人が20歳でも早いと思っている」、「お酒とタバコは20歳なのに、18歳では成人となった自覚がない」、「未成年の飲酒を助長する懸念がある」。保護者からは、20歳ではまだまだ成熟出来ていないのではないかと、という意味合いを含んだ意見が多く見受けられました。また、「成人式を迎える」イコール「飲酒・喫煙の解禁」という勘違いを懸念する声もありました。実際、生徒のアンケート結果に、成人の祝いの対象を18歳と回答した人の自由意見に「飲酒が出来</p>
--	--

	<p>るから」という旨の回答がありました。</p> <p>以上のようなアンケート結果を受けまして、本庄市としては令和4年度以降の成人式の対象を現行どおりである20歳として、式典をとり行いたいと考えております。皆様からのご意見等ありましたら、よろしく申し上げます。アンケート結果に関する説明は以上です。</p>
議長	<p>事務局より、「議事5-2 本庄市成人の祝い式典に係るアンケートの結果について」説明がございましたが、ご意見等ございませんか。</p>
内田委員	<p>私もすごく迷っており、とても難しい問題だと思います。現行のままが誰にとっても一番楽だと思いますが、今まで根拠としてきた20歳だから成人としてきたのが変わるのに、もちろん今の人に聞いたら回りの人が20歳で成人式をやっているのだからこのような結果になるのは当たり前で見なくてもわかります。なぜ20歳で行うのか、今度は伝統的だからと言われても成人式自体、そんなに伝統的な風習ではないため、伝統的なので20歳からというのは個人的には根拠が薄い気がしています。対象年齢を簡単に換えられる事業ではないので、令和4年度からはとりあえず現行どおりにしておいて、後で18歳に変えるのは難しいと思います。そのような点から難しい問題と思っています。色々な記述があっっておもしろいなど見ていましたが、生徒とPTAの意見は似通っていて、意義として「大人になる自覚を促す」とか「将来について考える機会」ということであれば、18歳で成人になったのだから18歳にやるべきなのかなというのが素直な意見です。あと、受験が大変というのもすごくわかります。今行っている時期にやるのは無理だと思います。18歳でやるのであれば時期を動かすしかないと思います。懸念というのは、民法上成人年齢が18歳になったので成人式を18歳にしたというのは説明がつきますが、他の意見にもありましたが今度はなぜ20歳なのかという根拠が難しくなる時がくるのかなという思いがあります。確かに20歳ではまだ成熟できていないところもあるだろうし、本庄市としては20歳で行うということであればそれでいいのでしょう。今、実行委員会で当事者が主体で出し物を考えてもらう都合もあって、それを受験生にやらせていいのかという問題もあるし、だからと言って19歳というのも違うし、とても悩ましい問題であると思います。だからこの辺は、生徒の8割が、20歳が良いと言っているからいいかなと思いますが、だからといって20歳で良いという状況バランスでやるのではなく、本当に20歳で決</p>

	めるのであれば、簡単に対象年齢を変えるのではなく、裏付けと いうかしっかり調べた方が良くかなと思います。
都丸委員	成人式にずっと出させいただいておりますが、この人たち本当に 自覚とか持っているのかなという感じで、同窓会みたいな雰囲気 で、来賓の方のすごく良いお話をしてくださっていますが、全然 聞いていなかったりするとこの式典とは何の意味があるのかと 私は思うことがあります。そこがわかっていないのに20歳であ ろうと18歳であろうと一緒にだと思えます。式典自体にしても、 そこまでやる意味があるのかなといつも引っかかっています。こ れから20歳になる自覚を皆で考えたりするのであれば良いので すが、なんかお祭りで終わってしまい、仕方のないところもある のですが、他の自治体でも成人式自体をとりやめるところもあ りますので、そここのところを考えてほしいと思います。
加藤課長	今回のアンケートを行って、私もどちらが良いかという先入観 を持たずに結果を見させてもらいました。5ページのところを開 いていただいて、私も思ってもみない回答として、PTAの方で 48%、約半数の親御さんが「大学・専門学校の入学準備と重なり、 家計の負担が増える」と答えており、驚いております。意義 があるかないかという議論につきましては、既に就職されている 方もおり、短大、専門学校に行っている方もいますし、22歳で 大学が終わるということもありますので、一概には言い切れない と思います。ただ、現在の出席率が約80%近くあるなかで、成 人式をしなくてもよいという判断にはならないのではないかと私は 考えています。いずれにいたしましても、PTAの方の約半数が 家計の負担があるというところは含めて考えていきたいと思っ ております。
矢野間委員	まず、1点目ですが、そもそも本庄市は成人式をなんでやって いるのですか。
下垣補佐	成人になった方を皆さんでお祝いしてあげようというのが、一 番だと思います。
矢野間委員	であるならば、成人が18歳になるのであれば18歳でも良い のかと単純に思います。それをとりまく状況とかは、何かを1つ 変えようとする、良いとか悪いとか色々なことがあって全部を 平等に救えるかといえば、救えないこともあります。正直、私に も17歳の娘がいますけど、来年彼女が成人かという、成人で はないよなという感覚はあります。ただ、民法上で成人が18歳 になるのであれば、令和4年度の時まで切り替えておかなくて は、20歳では違うのかなと思います。20歳で成人式をやるの

	は意味合いが違ってくるのかなと思います。あと、気になったのが、PTAの対象者ですが本庄市PTA連合会の会議の場というところ、十数名程度になるのではないのでしょうか。
下垣補佐	3ページのところになります。母数が15ということで、15名となります。
矢野間委員	もう少し、違うところで配ることができなかったのか。せっかくのアンケートなので、何か意見を吸い上げるのは代表者でも良いのですが、全体の意見として、先程家計の負担ということで課長が話していて、すごく分かることですので、もっと必要があるのであれば生の声の方が聞き易いと思いました。
久保田委員	成人になって祝うということを親の立場から言うと、20歳になって良く育って良かったなということで住んでいる市町で祝っていただけるのはうれしいことだと思います。そういったことで考えていくと、18歳で成人になったとすると18歳で祝っていただくことが、一番説明がつくし、今後10年、20年たった時になぜ20歳で行うのか回答ができなくなると思いました。ただ、受験の問題や保護者の負担の問題等解決していかななくてはならないことが出てくると思いますが、やはり18歳が、一番説明がつくと思います。
芦澤副委員長	先程、都丸委員も言っていましたが、同窓会みたいな雰囲気、やはり成人を祝うのは、あなたが民法上のそのような立場になったという自覚が出てきて、大人になったことを全体でお祝いを行う。もし私が出来る立場であれば、地域の自治会で集まって、皆で祝ってあげて、あなたは成人を迎えてどのような気持ちでいますかという、そこで地域の方とコミュニケーションを図りながら、あなたは本当に成人になったのだから、法的にも変わっていることを自覚させながら地域でおめでとうと言ってあげられるような式典であればと考えます。一言、私は今日成人を迎えてこういう自覚がありますと言ってもらえる場があってもよいのかなと思います。
岩崎委員	本当に難しい問題だと思います。矢野間委員が言ったように、民法上18歳で成人になるということであればどこかで自覚させてやらないと、色々あってここは社会の方で考えてあげるべきものであって、今までの慣習からやってきた振袖を着る成人式が頭にあるから、1月でなくては、20歳でとか、経済的な問題があるとかそういった物を全部とっばらって考える必要が出てきた時代なのではないかと。芦澤さんの話にもありましたが、ゲームなど幼児の時から使うような時代になってきたのですから、やはり

	<p>18歳で成人になったという自覚をさせることが必要で、高校生などは学校の中で自覚させる方法しかないから、社会がそれにどのように係っていくか考えていかななくてはならない。今までの既成概念で20歳の成人式を考えると、我々の時は東中学校の体育館が初めて出来て、そこでただスピーチを聞いただけで、なんの意味があったのかと思っています。それから同級生で集まってお酒を飲んだ思い出しかないです。そのところから考えをまわすと、頭に残っているのは今やっている成人式の頭でアンケートに答えているようだから、なにか18歳ということでショックを与えてあげないと、社会として考える必要があるのでは。今までのならいからいうとアンケートはこう出てきてしまいます。けれども、社会がそうではなくなってきたのだから、それを何か考えてあげると、今の形が成人式ではないと思います。そういった宿題を提言したいと思います。</p>
木村委員	<p>成人式は祝ってあげることなのですが、お祭りではいけないと思います。成人になったということを法律で18歳と決めたのだから、法治国家として法律を遵守した方法をとらないといけないと思うので、18歳で方法を変えて成人式は市でやりながら地元や自治会でも何かやり、自覚と注意を与えるようなことを地域、市、国という形で連携して行い、本人も自覚を持ったり知識をつけたり、人間関係も考え必要があります。小学校、高校、大学を出てきた延長で、これから自由なのだという意識でなったらいけないと思いますので、ぜひともそのようなインパクトを与える1つの節目に18歳とした方が良く私は思います。</p>
内田委員	<p>今まで、話を聞いていて社会教育委員もこれだけいるなかで、都丸委員は成人式を辞めることを考え、芦澤委員はあり方として自治会で行うとか、久保田委員は18歳が良いのではないのか、岩崎委員も私の言っていたきたいことをうまく言っていたいて、木村委員も18歳でやった方が良くはないのかと、これだけ委員がいる中でほとんどの人が、20歳そのままが良いと言う人が一人もいないということは、アンケートが出ました今の人たちはこのように思っていますから、20歳のままでいきますという市の姿勢が本当に正しいのかということも含めてちゃんとした会議体を持って市民の声を聞きながら、成人の祝いを考えた方がいいなと思いました。アンケートの中にも呉服屋や床屋等に聞いているのが、市が振袖を着る行事なのではと思っているアンケートとなのかなと思うのです。成人式にはそういった面もありますが、主はそこではなく経済的な負担というのは、勝手にやってい</p>

内田委員	<p>る話で別に成人の祝いに振袖を着て来いとは誰も言うてはいないので、伝統的なものに触れるといわれても、勝手に20歳の時に自分でやっていただければいい話であって、成人の祝いが18歳になったから振袖を着て写真を撮らなくてとはというのは、今までの成人式のあのスタイルを考えているからであって、今後本当にそれが良いかどうかはしっかり話し合った方が良いのではと皆さんの話を聞いて思いました。</p>
野本委員	<p>成人年齢が18歳に法改正になって、そこで成人式が出てきたわけですが、けじめの18歳でいいのではないかとというのが何人か出たので、私も変えていったほうが良いのかなと思いました。意識としては、アンケートのとおりで8割以上の方が、20歳がふさわしいと、今まで長くやってきたこともありますし、20歳であったのを18歳に移す、受験等で忙しい時期ではありますが、根本的には選挙権が18歳になったというのが成人年齢の引き下げの主旨ですから、それを促すためにも18歳ということで日本の全国の地方公共団体が成人の祝いを18歳に移行して、自覚を後押ししていくことが必要なのかというふうにも今は考えています。まとまっておりませんが。</p>
議長	<p>今日の話は参考に聞く話しでしょうが、本庄市が行うのですから本庄市が考えれば良い話しだと思います。私たちに話しを聞くのも、確かに委員なのだから話はわかりますが、これで20歳か18歳かと言われても大変困ります。いま少し、事務局の方で考えていただいてはどうでしょうか。</p>
木村委員	<p>委員会ではこのような意見がでましたということで良いのでは。</p>
議長	<p>皆さんが20歳ですよ、18歳ですよと言われても、本庄市でお祝いする行事ですから、18歳も20歳もないとは思いません。</p>
内田委員	<p>市がやるということであるならば、我々がやらないと、議会でもいいですが、我々みたいな社会教育委員からでないとは他にこのような事を話せる人がいないのではないですか。今回出して、一応理解をもらったという形だったのでしようが、今日はもらえませんでしたから、これだけ議論があるということは、もう少しそのような場、この会でもいいですし、もう1つ作っても良いと考えます。そのようなことがないと、はい、OKですとはならないのかなというふうに思います。</p>
議長	<p>生まれた時が誕生祝い、七五三の祝い、成人式、結婚祝いがあって、大人になりましたということで20歳の祝いです。今は祝いごとが少なくなってきましたが、一番20歳の成人の</p>

	<p>祝いがその人の生涯の中で頭に残っていなくても、行政がお祝いしてあげることが一生の内の1回しか味わえないものです。</p>
木村委員	<p>地域住民の祝いなのですから、20歳か18歳かは地域住民にはかってもらい合意の上であれば良いのでは。</p>
議長	<p>意見も出つくしたようなので、以上で本会議の議事は終了いたします。大変、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日予定していた議事等は全て終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
加藤課長	<p>それでは、閉会の言葉を芦澤副委員長にお願いしたいと思います。</p>
芦澤副委員長	<p>・閉会</p> <p>本日は、ご協力ありがとうございました。</p> <p>委員長のおかげで、委員同士の意見交換が行えて、一番意見が出し合えたのではないのでしょうか。社会教育委員さんの一人ひとりの意見を含んだ会議だったと思います。</p> <p>また、これから我々が社会教育委員として、何を求めて、何をしていけば良いか考えながら、地域住民の方たちの幸せを願うのが一番なのかと思います。</p> <p>今日はありがとうございました。これで、第1回の本庄市教育委員会議事を終了させていただきます。</p>